

令和6年度 一般選抜学生募集要項

学 類	出 願 期 間	前 期 日 程			後 期 日 程		
		試 験 日	合格者発表	入学手続期間	試 験 日	合格者発表	入学手続期間
人間発達文化学 類	1月22日 (月)	2月25日 (日)	3月6日 (水)	3月7日 (木)	3月12日 (火)	3月20日 (水・祝)	3月21日 (木)
行政政策学類							
経済経営学類	2月2日 (金)	2月26日 (月)					
共生システム理工学類				3月15日 (金)			3月27日 (水)
食農学類							

※本学におけるすべての入試はインターネット出願です。

インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しません。

(出願書類一式を一般書留速達で郵送もしくは持参することで、すべての出願手続が完了となります。)



〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎024-548-8064 (入試課)
<https://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

I	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
II	入学定員および募集人員	8
III	出 願 資 格	9
IV	入学者選抜方法	
1.	令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科等	10
2.	個別学力検査等実施教科・科目・出題範囲、試験日・試験時間および合格者決定方法等	13
V	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点	17
VI	出 願 手 続	
1.	出願方法の確認	20
2.	事 前 準 備	20
3.	インターネット出願登録期間	21
4.	検定料の支払い	21
5.	出 願 期 間	22
6.	出願書類提出先	22
7.	出 願 書 類 等	22
8.	出願書類作成上の注意事項	23
9.	受験票の印刷について	23
10.	出願に際しての留意事項	23
11.	障がい等のある入学志願者の事前相談	24
12.	出願状況についての情報提供	24
13.	大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表	24
VII	試験当日に持参するもの	30
VIII	試 験 場	30
IX	合 格 者 発 表	30
X	追 加 合 格	30
XI	入 学 手 続	
1.	手続の概要	31
2.	入学辞退者の取扱い	31
3.	入学時の大学への納入金	31
4.	入学料・授業料の減免について	31
XII	不正行為の禁止について	32
XIII	入試情報の公開（開示）について	
1.	試験問題等の公開について	32
2.	入学試験個人成績等の開示について	32
XIV	入学志願者の個人情報保護について	33
XV	一般選抜（前期日程および後期日程）における過去問題の使用について	33
XVI	東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	33
XVII	令和7年度福島大学入学者選抜（令和6年度実施）の見直しに関する予告について	34
XVIII	その他	34
	○福島大学案内図	本要項末

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21 世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では、すべての学類の入学者選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、「主体性等）」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 評価方法	〈 学 力 の 3 要 素 〉				
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力		主 体 性 等	
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力	表 現 力	意欲・関心・態度 (主 体 性)	協 働 性
大学入学共通テスト、 個別学力検査	○	○			
実 技 (実 績 評 価)	○		○		
小論文、課題論文、 課題レポート	○	○	○		
総 合 問 題	○	○			
口頭試問、面接	○	○	○	○	
集 団 討 論		○	○		○
ポスター プレゼンテーション	○	○	○	○	
調 査 書				○	○
推薦書（学校）	○			○	
自己推薦書、 志願理由書			○	○	

総合型選抜と学校推薦型選抜では、下表に記した方法で、学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類 (芸術・表現コース)	小論文、面接、実技検査		面接
人間発達文化学類 (スポーツ健康科学コース)	実技実績調査書（第1次選抜） 小論文、面接、実技実績評価 （第2次選抜）	小論文、面接	面接
行政政策学類（夜間主）	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート（第1次選抜） 大学入学共通テスト （第3次選抜）	課題レポート（第1次選抜）	
		集団討論および面接（第2次選抜）	
共生システム理工学類	ポスター内容（第1次選抜） 総合問題（第2次選抜）	ポスター内容（第1次選抜）	志願理由書
	ポスタープレゼンテーション（第2次選抜）		
食農学類	自己推薦書（第1次選抜）、課題論文（第2次選抜）		面接（第2次選抜）

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト、面接		面接
行政政策学類	調査書（評点）、小論文	小論文、面接	面接
経済経営学類（A推薦）	調査書（評点）、 語学資格・検定基準	小論文、面接	面接
経済経営学類（B推薦）	調査書（評点）、 簿記検定試験の合格	小論文、面接	面接
共生システム理工学類	調査書（評点）、小論文	小論文、面接	面接

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

1. 人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には、教育実践、心理学・幼児教育、特別支援・生活科学、芸術・表現、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の7つのコースがあり、1年生の前期（第1 Semester）から各コースのいずれかに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

〔一般選抜・前期日程〕 募集人員 154 人

〔一般選抜・後期日程〕 募集人員 12 人

〔総合型選抜〕 募集人員 20 人

〔学校推薦型選抜〕 募集人員 74 人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は、人間に対する理解だけでなく、高校で学んだ人文科学や社会科学、生活科学、数理科学、芸術、スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。本学類では、以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力・実能力
- (2) 得意分野に関する優れた理解・技能（以下のうち1つ以上）
 - ・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
 - ・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
 - ・音楽や美術において優れた技量を有している。
- (3) 教育・人間・文化・社会への問題意識、および人間発達支援に対する強い意志

〔行政政策学類〕

1. 行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では、21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- ・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- ・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力
- ・発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- ・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
- ・修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力

行政政策学類には、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の2コースがあり、2年生の前期（第3 Semester）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

〔昼間の一般選抜・前期日程〕 募集人員 108 人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

〔昼間の一般選抜・後期日程〕 募集人員 35 人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

〔昼間の学校推薦型選抜〕 募集人員 42 人
調査書（全体の学習成績の状況（評定平均値）4.3 以上）、志願理由書（「法・地域・行政・社会・文化について関心がある者」）提出を推薦要件とし、個別学力検査（小論文）と面接によって実施。

〔夜間主の総合型選抜〕 募集人員 20 人
志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力（以下のうち1つ以上）
 - ・国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。
 - ・上記科目のうち，いずれか3科目について，優れた知識を有している。
- (2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力（以下のうち1つ以上）
 - ・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
 - ・政治，経済，社会的な問題などに関心を持ち，深く考察する態度
 - ・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

〔経済経営学類〕

1. 経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では，経済と経営の専門知識を身に付け，現代の経済社会を理解し，課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし，卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・経済学と経営学の専門知識
- ・エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
- ・フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
- ・グローバルに思考し実践に進む力
- ・キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には，「経済学コース」「経営学コース」の2コースがあり，2年生の後期（第4セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では，次の入学試験を実施します。

- | | |
|---------------|------------|
| 〔一般選抜・前期日程〕 | 募集人員 114 人 |
| 〔一般選抜・後期日程〕 | 募集人員 40 人 |
| 〔総合型選抜〕 | 募集人員 11 人 |
| 〔学校推薦型選抜・A推薦〕 | 募集人員 25 人 |
| 〔学校推薦型選抜・B推薦〕 | 募集人員 25 人 |
| 〔私費外国人留学生選抜〕 | 募集人員 5 人 |

入学試験の内容は，後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と，社会での実践力を大学において身につけるために，以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力
 - ：国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。
 - (2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力
 - (3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲
 - (4) 得意分野に関する優れた学力・実績（学校推薦型選抜に該当）
 - ：学校推薦型選抜では，上記の(1)・(2)・(3)に加え，以下の点を評価します。
- 学校推薦型選抜（以下のうち1つ以上）
 - A推薦：英語等の外国語に関する優れた知識，ないし関連資格を有している。
 - B推薦：簿記に関連する優れた知識，ないし関連資格を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、21世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき、人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- ・論理的で的確な立案力と決定力
- ・学際的・国際的に実践する力
- ・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システムの捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した9つのコース*の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

*9コース：数理・情報科学コース、経営システムコース、物理・システム工学コース、物質科学コース、エネルギーコース、生物環境コース、地球環境コース、社会計画コース、心理・生理コース

2. 入学試験の種類と内容

本学類では4種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔総合型選抜〕募集人員 25人

高等学校までの学習全般を含む総合問題、自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑、志願理由書および調査書により、高等学校の基礎的な学力、論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

〔学校推薦型選抜〕募集人員 23人

小論文、面接、志願理由書および調査書により、基礎学力、理解力、論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の人を対象としており、高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

〔3年次編入学〕募集人員 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に、面接と提出書類（志願理由書、推薦書、調査書）により、本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち、学習意欲が高い人を選抜します。

〔一般選抜〕募集人員 前期日程 70人、後期日程 42人

理科1科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査、大学入学共通テスト（5教科7科目）および調査書により、基礎的な科目を広く習得し、理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 論理的な思考力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

農学群

〔食農学類〕

1. 食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- ・異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- ・グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- ・温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では、2年生の後期（第4セメスター）から、食品科学コース、農業生産学コース、生産環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- ・食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- ・農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病害虫管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより、安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。
- ・生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し、管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復やICT等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
- ・農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報を詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

2. 入学試験の種類と内容

食農学類では期待する人材を求めて、4種類の入学試験を実施いたします。

それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔一般選抜・前期日程〕 募集人員 60人

大学入学共通テストの5教科7科目（国語、地理歴史・公民（1科目）、数学（2科目）、理科（2科目）、外国語）、個別学力試験の2科目（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）、英語から2科目選択）で実施。

〔一般選抜・後期日程〕 募集人員 20人

大学入学共通テストの5教科7科目（国語、地理歴史・公民（1科目）、数学（2科目）、理科（2科目）、外国語）、個別学力試験の1科目（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）、英語から1科目選択）、および面接で実施。

〔総合型選抜・地域社会貢献枠〕 募集人員 概ね10人

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い、第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者、あるいは福島県外の高専等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内か出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者で、指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

〔総合型選抜・実践教育経験枠〕 募集人員 概ね10人

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い、第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

高等学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）、総合学科、あるいは中等教育学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）を卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持ち、かつ指定する資格のいずれかを取得している者を対象とします。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類での成長を実現するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身に付けるべき基礎学力
- (2) 対象を的確に捉える理解力と分析力
- (3) 論理的な思考力
- (4) 自らの見解を的確に伝える表現力
- (5) 常に食と農に関心を寄せる持続力

Ⅱ 入学定員および募集人員

単位：人

学群	学 類	コ ー ス 等	入 学 員	募 集 人 員			
				一 般 選 抜		総合型選抜	学校推薦型選抜
				前期日程	後期日程		
人 文 社 会 学 群	人間発達文化学類	教育実践コース	260	15	A系 6		14
		心理学・幼児教育コース		20			7
		特別支援・生活科学コース		12			13
		芸術・表現コース		12		8	8
		人文科学コース		60	B系 6		15
		数理自然科学コース		15			11
		スポーツ健康科学コース		20		12	6
		小 計		154	12	20	74
	行政政策学 類	昼間 地域政策と法コース 地域社会と文化コース	185	108	35		42
		夜間主 地域政策と法コース 地域社会と文化コース	20			20	
		小 計	205	108	35	20	42
	経済経営学 類	経済学コース 経営学コース	※220	114	40	11	A推薦 25 B推薦 25
理 工 学 群	共 生 システム理工学類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	160	70	42	25	23
農 学 群	食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	100	60	20	20	
合 計			940	506	149	96	189

【注意事項】

※私費外国人留学生選抜の募集人員5人を含む。

人間発達文化学類

- (1) 人間発達文化学類の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 人間発達文化学類一般選抜後期日程入学者の所属コースは、入学手続の際、合格した系の中の希望するコースに決定します。

行政政策学 類

- (1) 行政政策学類の学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 行政政策学類入学者の所属コースは、1年次後期（第2セメスター）に本人の希望を考慮して決定します。

経済経営学 類

- (1) 経済経営学類の総合型選抜、学校推薦型選抜および私費外国人留学生選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 経済経営学類入学者の所属コースは、2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

共生システム理工学類

- (1) 共生システム理工学類の総合型選抜では、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (2) 共生システム理工学類の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程または後期日程の募集人員に加えます。
- (3) 共生システム理工学類入学者の所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

食 農 学 類

- (1) 食農学類の総合型選抜の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 食農学類入学者の所属コースは、2年次前期終了時に決定します。

Ⅲ 出願資格

一般選抜に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和6年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目をすべて受験した者^{※1}とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和6年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和6年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者（平成18年4月1日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者（平成18年4月1日に生まれた者を含む。）^{※2}

※1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、10～12ページのとおりです。各学類・試験日程（人間発達文化学類前期日程はコース）ごとに指定された教科・科目を受験していない場合は、出願資格を有しないこととなりますので注意してください。

大学入学共通テスト「外国語」において、「英語」を選択する場合は、「リスニング」の免除を許可された場合を除き、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。「リーディング」または「リスニング」のどちらかしか受験していない場合は、「英語」を受験しなかったものとして取り扱いますので注意してください。

※2 出願資格の(3)⑥により出願を希望する者で、大学入学共通テスト出願後に、志望大学を本学に変更し出願する者は、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和6年1月10日（水）〔午後5時必着〕までに提出してください。

なお、個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

Ⅳ 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等（個別学力検査、実技検査、小論文および面接）に基づいて行いますが、学類によって異なるので、詳細については志願する学類の選抜方法の頁を参照してください。

なお、出身学校の調査書は選抜の基礎資料として利用します。

1. 令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科等

(1) 人間発達文化学類

試験日程	コース	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	すべてのコース	国語 地理歴史、公民 理科 数学 外国語	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1または2 〈選択①:「地歴」,「公民」から1科目選択する場合〉 物基, 化基, 生基, 地学基から2および物, 化, 生, 地学から1 または 物, 化, 生, 地学から2 〈選択②:「地歴」,「公民」から2科目選択する場合〉 物基, 化基, 生基, 地学基から2 または 物, 化, 生, 地学から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〈選択①〉〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕 〈選択②〉〔5教科7科目〕,〔5教科8科目〕,〔6教科7科目〕 または〔6教科8科目〕

【注意事項】

- ①a. 「地理歴史」,「公民」から2科目,「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合,それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目,合計3科目を判定に用います。
- b. 「地理歴史」,「公民」から2科目,「理科」の「基礎を付した科目」から2科目,および「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合,「地理歴史」,「公民」の「第1解答科目」と,その他の3科目から高得点の2科目,合計3科目を判定に用います。
- ②「地理歴史」を2科目選択する場合は,同一名称のA・B科目,「公民」を2科目選択する場合は,同一名称を含む科目同士の選択はできません。
- ③「理科」を2科目選択する場合は,「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択解答することができる者は,高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ⑤「外国語」の「英語」については,リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は,リーディングのみとなります）。
- ⑥過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(2) 行政政策学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基から2 または 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕

【注意事項】

- ・前期日程について
 - ①「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択解答することができる者は,高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
 - ②「理科」については,
 - a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は,第1解答科目を判定に用います。

- b. 「基礎を付した科目」 2 科目および「基礎を付していない科目」 1 科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目（「基礎を付した科目」の場合は 2 科目の合計点）を判定に用います。
- c. 「理科」を 2 科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ③「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）。
- ・後期日程について
- ①解答した〔6 教科 7 科目〕または〔6 教科 8 科目〕のうち高得点の〔3 教科 3 科目〕または〔3 教科 4 科目〕を用います。各教科、科目ごとの注意事項は以下のとおりです。
- ②「地理歴史」、「公民」は、2 教科 2 科目の受験が必要ですが、判定には第 1 解答科目（1 教科 1 科目のみ）を用います。
- ③「数学」については、「数学①」と「数学②」をそれぞれ 1 科目として扱うので、「数学①」と「数学②」が高得点の〔3 教科 3 科目〕または〔3 教科 4 科目〕に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。
- （「数学①」…数Ⅰ・数Ⅱ 「数学②」…数Ⅱ・数Ⅲ、簿、情報）
- ④「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ⑤「理科」については、
- a. 「基礎を付していない科目」を 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目を判定に用います。
- b. 「基礎を付した科目」 2 科目および「基礎を付していない科目」 1 科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目（「基礎を付した科目」の場合は 2 科目の合計点）を判定に用います。
- c. 「理科」を 2 科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ⑥「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）。
- ・過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和 6 年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(3) 経済経営学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史、公民 数学 理科 外国語	国 世Ⅱ、日Ⅱ、地理Ⅱから 2 または 世Ⅱ、日Ⅱ、地理Ⅱから 1 および現社、倫、政経、倫政経から 1 数Ⅰ・数Ⅱ（必須） 数Ⅲ・数Ⅳ、簿、情報から 1 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地Ⅰから 2 または 物、化、生、地から 1 英、独、仏、中、韓から 1 〔5 教科 7 科目〕、〔5 教科 8 科目〕、〔6 教科 7 科目〕 または〔6 教科 8 科目〕

【注意事項】

- ①「地理歴史」、「公民」については、2 科目のうち少なくとも 1 科目は、「世界史Ⅱ」、「日本史Ⅱ」、「地理Ⅱ」より選択することとします。
- ②「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ③「理科」については、
- a. 「基礎を付していない科目」を 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目を判定に用います。
- b. 「基礎を付した科目」 2 科目および「基礎を付していない科目」 1 科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目（「基礎を付した科目」の場合は 2 科目の合計点）を判定に用います。
- c. 「理科」を 2 科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）。
- ⑤過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和 6 年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(4) 共生システム理工学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史、公民 数学 理科 外国語	国 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 または 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕

【注意事項】

- ①「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
- ②「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ③「理科」については、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）。
- ⑤過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(5) 食農学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史、公民 数学 理科 外国語	国 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 または 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕

【注意事項】

- ①「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
- ②「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ③「理科」については、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）。
- ⑤過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和6年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

2. 個別学力検査等実施教科・科目・出題範囲、試験日・試験時間および合格者決定方法等

(1) 人間発達文化学類

試験日程・コース		個別学力検査等	試験日	試験時間 ※
前期 日程	教 育 実 践	小論文	2月25日 (日)	10:00～12:00 (120分)
	心 理 学 ・ 幼 児 教 育	小論文 表現基礎検査 } から1 ※保育士資格取得を希望する者は表現基礎検査を、 保育士資格取得を希望しない者は小論文を選択し てください。		(小論文) 10:00～12:00 (120分) (表現基礎検査) 9:00～15:00 終了予定
	特 別 支 援 ・ 生 活 科 学	小論文		10:00～12:00 (120分)
	芸 術 ・ 表 現	実技検査 (音楽) 実技検査 (美術) } から1		(音楽) 10:00～15:00 終了予定 (美術) 10:00～13:00 終了予定
	人 文 科 学	国語 (国語総合・現代文B・古典B) 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 小論文 } から1		10:00～12:00 (120分)
	数理自然科学	数学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)		10:00～12:00 (120分)
	ス ポ ー ツ 健 康 科 学	実技検査		8:45～17:00 終了予定
後期 日程	す べ て の コ ー ス	小論文	3月12日 (火)	13:30～15:30 (120分)

※ 受験者は、試験開始時刻 25 分前までに各自試験室に入室してください。ただし、前期日程の心理学・幼児教育コース「表現基礎検査」および芸術・表現コースの受験者は、試験開始時刻 30 分前までに指定された場所に集合してください。また、スポーツ健康科学コースの受験者は、「運動着」に着替えを済ませて、試験開始時刻 15 分前までに指定された場所に集合してください。

【注意事項】

(1) 個別学力検査等について

① 前期日程

教育実践コース、特別支援・生活科学コースは小論文^(※1)の試験を行います。

心理学・幼児教育コースは小論文^(※1)または表現基礎検査^(※2)の試験を行います。

芸術・表現コースは実技検査^(※3)を行います。

人文科学コースは国語または英語^(※4)または小論文^(※1)の試験を行います。

数理自然科学コースは数学^(※5)の試験を行います。

スポーツ健康科学コースは実技検査^(※3)を行います。

※1 小論文は、資料を与え、1,200 字程度で論述させ、理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

※2 「表現基礎検査」は作文、歌、造形等により、保育者になるための資質をみます。なお、楽器の演奏は求めません。当日着替えの時間を設けますので、動きやすい服および上靴を持参してください。

※3 実技検査の内容は 14 ページのとおりです。

※4 「英語」については、「音声内容」は含みません。

※5 「数学」の「数Ⅲ」は「極限・微分法・積分法」、「数B」は「数列」、「ベクトル」とします。

② 後期日程

教育実践コース、心理学・幼児教育コース、特別支援・生活科学コース、芸術・表現コース志望をA系志望、人文科学コース、数理自然科学コース、スポーツ健康科学コース志望をB系志望とします。

それぞれの募集人員をA系志望6人、B系志望6人とし、2系とも小論文の試験を行います。

小論文は、資料を与え、1,200 字程度で論述させ、理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

(2) 合格者決定方法について

合格者の決定は、大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います(配点等については、17 ページを参照してください)。出身学校の調査書は選抜の基礎資料として利用します。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

① 前期日程

a. 心理学・幼児教育コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、小論文の上位 12 人、表現基礎検査の上位 8 人を合格者とします。

b. 芸術・表現コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、音楽の上位 6 人、美術の上位 6 人を合格者とします。

c. 人文科学コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、国語の上位 20 人、英語の上位 20 人、小論文の上位 20 人を合格者とします。

② 後期日程

大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により序列化し、上位から合格者を決めます。第一志望の合格者が定員を満たしていても、第二志望の定員が満たされていない場合は、第二志望の系で合格となります。

(3) 実技検査の内容について

前 期 日 程	芸術・表現 コース	音楽	音楽実技は、楽典（音楽史は含みません）をすべての受験者に課します。さらに、ピアノ、声楽、任意の楽器（鍵盤楽器以外）、作曲、音楽に関する記述問題の 5 つの科目から 2 つ（1 つを主科目にし、もう 1 つを副科目にする）を出願時に選択します。 (1) ピアノ＝主科目にする場合は①から④の中から受験者が 1 曲を選び、くりかえしなしで暗譜演奏します。副科目にする場合は、⑤をくりかえしなしで暗譜演奏します。 ①ハイドン作曲 ピアノソナタ ト長調 Hob. XVI/40 第 1 楽章 ②モーツァルト作曲 ピアノソナタ ハ長調 KV309 第 3 楽章 ③モーツァルト作曲 ピアノソナタ 変ロ長調 KV570 第 3 楽章 ④ベートーヴェン作曲 ピアノソナタ ヘ長調 作品 10 の 2 第 1 楽章 ⑤モーツァルト作曲 ピアノソナタ ハ長調 KV545 第 1 楽章 (2) 声 楽＝実技検査当日に、主科目にする場合は①から③の中から、副科目にする場合は④と⑤の中から大学側が 1 曲を選び、暗譜で歌わせます（歌詞は原語でも邦訳でもよい）。指定の調以外で歌う者は、願書提出の際、その伴奏譜を添付すること。 ①カルダーラ作曲「Sebben, crudele たとえつれなくとも」（ホ短調、ニ短調） ②シューベルト作曲「Erster Verlust 初めての喪失」（ヘ短調、変ホ短調、ニ短調） ③小松耕輔作曲「母」（変イ長調、ヘ長調） ④コンコーネ 50 番から No. 12 （ニ長調、ハ長調、イ長調） ⑤山田耕筈作曲「この道」（ホ長調、ニ長調） (3) 任意の楽器＝受験者が用意した任意の楽器で任意の曲の演奏を行います。楽器は鍵盤楽器以外で、各自が用意してください。演奏は無伴奏とします。 (4) 作 曲＝和声課題（四声体バス課題、12 小節程度、「3 和音基本位置」程度まで）を解きます（60 分）。 (5) 音楽に関する記述問題＝音楽あるいは音楽教育に関する課題について、1,000 字程度で答えます（60 分）。
		美術	美術実技は、素描（鉛筆デッサン）を課し、基礎表現力を評価します。 形態の把握力、観察力、表現力、描写力を重視して考査します（180 分）。 （持参品） 鉛筆、消し具、カッターナイフ
	スポーツ健康 科学コース		体育実技は、基礎運動技能検査および実技実績調査書により、総合的に評価します。 1. 基礎運動技能検査 走跳投系技能検査（走跳投に関する基礎的技能） 巧緻系技能検査（全身的器用さ、ならびに平衡能力） 球技系技能検査（手や足、また道具を使ってボールを扱う技能） 2. 実技実績調査書による評価 高等学校入学以降のスポーツ競技実績を、実技実績調査書により評価します。 （持参品）運動着、屋内および屋外用シューズ（靴底に突起物のついたものは不可） （注）① 実技検査の受験に当たっては、「運動着」に着替えを済ませて、集合してください。集合後に、着替えの時間はとりません。 ② 実技検査中の怪我、急病に備えて、健康保険証またはその写しを持参してください。 ③ 天候により変更になることがあります。

(2) 行政政策学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	小論文	2月25日(日)	13:30～15:30
後期日程	小論文	3月12日(火)	13:30～15:30

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
小論文については、試験時に資料を与え、それに関して1,200字以内で論述させ、理解力・思考力・表現力を総合的に採点します。
ア. 前期日程 出題する長文について、長文の読解力・要約力を重点的に問います。
イ. 後期日程 出題する長文について、受験者の見解を論述させ、文章構成力を重点的に問います。
- ② 合格者決定方法について
出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
合格者の決定は、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を総合して高得点順に行います（配点等については、18ページを参照してください）。
個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

(3) 経済経営学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 小論文 } から1	2月26日(月)	(英語) 10:00～11:10 (小論文) 10:00～11:30
後期日程	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 小論文 } から1	3月12日(火)	(英語) 10:00～11:10 (小論文) 10:00～11:30

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
「英語」については、「音声内容」は含みません。
「小論文」は、一定の素材を与え、それに関して1,200字以内で論述させ、読解力、知識活用力、表現力等を総合的にみます。
- ② 合格者決定方法について
出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
合格者の決定は、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を総合して高得点順に行います（配点等については、18ページを参照してください）。
個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。
- ③ 得点調整について
個別学力検査等における選択教科・科目間で、試験問題の難易度に差が認められた場合には得点調整を行います。

(4) 共生システム理工学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	理科（物基・物、化基・化、生基・生から1） および数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）	2月26日(月)	10:00～12:00
後期日程	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）	3月12日(火)	10:00～11:20

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
前期日程の「理科」の「物理」、「化学」、「生物」は全領域とします。
前期日程および後期日程の「数学」の「数B」は、「数列」、「ベクトル」とします。
- ② 合格者決定方法について
出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
合格者の決定は、大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点等については、19 ページを参照してください）。
個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。
- ③ 得点調整について
個別学力検査等における選択科目間で、試験問題の難易度に差が認められた場合には得点調整を行います。

(5) 食農学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	物基・物 化基・化 生基・生 数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）	2月26日（月）	10：00～12：00
後期日程	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接（必須）	3月12日（火）	10：00～11：00 12：30～17：00（予定）

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
前期日程の「理科」の「物理」、「化学」、「生物」は全領域とします。
前期日程の「理科」について、物基・物、化基・化、生基・生から2科目の選択も可能です。
前期日程および後期日程の「数学」の「数B」は、「数列」、「ベクトル」とします。
前期日程および後期日程の「英語」については、「音声内容」は含みません。
後期日程の面接は、調査書の内容を中心に質問を行い、本学類への進学意欲や問題意識を総合的に評価します。
- ② 合格者決定方法について
出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
合格者の決定は、大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点等については、19 ページを参照してください）。
個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。
- ③ 得点調整について
個別学力検査等における選択科目間で、試験問題の難易度に差が認められた場合には得点調整を行います。

V 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等（個別学力検査、実技検査、小論文および面接）に基づいて行います。大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点等は以下のとおりです。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和6年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。

1. 人間発達文化学類

試験日程・コース		試験区分	学力検査					実技検査	小論文	表現基礎検査	小計	総点	主体性等評価
			国語	歴史・公民	数学	理科	外国語						
前期日程	教育実践	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等							400		400		
		主体性等評価											※30
	心理学・幼児教育	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等							(400)	(400)	400		
		主体性等評価											※30
	特別支援・生活科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等							400		400		
		主体性等評価											※30
	芸術・表現	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,500	
		個別学力検査等						600			600		
		主体性等評価											※30
	人文科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等	(400)				(400)		(400)		400		
		主体性等評価											※30
	数理自然科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等			400						400		
		主体性等評価											※30
	スポーツ健康科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,500	
		個別学力検査等						600			600		
		主体性等評価											※30
後期日程	すべてのコース	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,100	
		個別学力検査等							200		200		
		主体性等評価											※30

【注意事項】

- ① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 「地理歴史」、「公民」、「理科」について
上段は、「地理歴史」、「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
- ③ 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

2. 行政政策学類

試験教科等 試験日程	試験区分	学力検査						小論文	小計	総点	主体性 等評価
		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語				
前 期 日 程	共 通 テ ス ト	150	75	75	100	50	150		600		
	個別学力検査等							200	200	800	
	主体性等評価 【B選考のみ加算】										※20
後 期 日 程	共 通 テ ス ト	☆100	☆100	☆100	☆100	☆100	☆100		300		
	個別学力検査等							100	100	400	
	主体性等評価 【B選考のみ加算】										※10

【注意事項】

(1) 前期日程について

- ① 「国語」については、得点を配点（150 点満点）に圧縮して利用します。
- ② 「地理歴史」、「公民」については、それぞれの得点を配点（75 点満点）に圧縮して利用します。
- ③ 「数学」については、「数学①」と「数学②」の合計得点（200 点満点）を配点（100 点満点）に圧縮して利用します。
 （「数学①」…数Ⅰ・数Ⅱ 「数学②」…数Ⅱ，数Ⅱ・数Ⅲ，簿，情報）
- ④ 「理科」については、得点を配点（50 点満点）に圧縮して利用します。
- ⑤ 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を 200 点満点に、リスニングの得点を 50 点満点に換算した合計得点（250 点満点）を、配点（150 点満点）に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（150 点満点）に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点（150 点満点）に換算して利用します。

(2) 後期日程について

- ① ☆印を付してある〔6 教科 7 科目〕または〔6 教科 8 科目〕のうち高得点の〔3 教科 3 科目〕または〔3 教科 4 科目〕を用います。各教科、科目ごとの注意事項は以下のとおりです。
- ② 「国語」については、得点を配点（100 点満点）に圧縮して利用します。
- ③ 「地理歴史」、「公民」は、2 教科 2 科目の受験が必要ですが、判定には第 1 解答科目（1 教科 1 科目のみ）を用います。
- ④ 「数学」については、「数学①」と「数学②」をそれぞれ 1 科目として扱うので、「数学①」と「数学②」が高得点の〔3 教科 3 科目〕または〔3 教科 4 科目〕に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。
- ⑤ 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を 200 点満点に、リスニングの得点を 50 点満点に換算した合計得点（250 点満点）を、配点（100 点満点）に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点をそのまま利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点（100 点満点）に換算して利用します。

3. 経済経営学類

試験教科等 試験日程	試験区分	学力検査					小論文	小計	総点	主体性 等評価
		国 語	地歴、公民	数 学	理 科	外国語				
前 期 日 程	共 通 テ ス ト	200	400 200	200 400	100	200		1,100		
	個別学力検査等					(400)	(400)	400	1,500	
	主体性等評価 【B選考のみ加算】									※30
後 期 日 程	共 通 テ ス ト	200	200	200	100	200		900		
	個別学力検査等					(200)	(200)	200	1,100	
	主体性等評価 【B選考のみ加算】									※30

【注意事項】

- ① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 前期日程においては、「地理歴史」、「公民」の合計得点と「数学」2 科目の合計得点とを比較し、合計得点の高い 2 科目について傾斜配点します。
 上段は、「地理歴史」、「公民」の合計得点の方が高い場合で、「地理歴史」、「公民」の得点をそれぞれ 2 倍にした場合の配点を表します。
 下段は、「数学」2 科目の合計得点の方が高い場合で、「数学」2 科目の得点をそれぞれ 2 倍にした場合の配点を表します。
- ③ 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を 200 点満点に、リスニングの得点を 50 点満点に換算した合計得点（250 点満点）を、配点（200 点満点）に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200 点満点）に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

4. 共生システム理工学類

試験日程	試験区分	学力検査					小計	総点	主体性等評価
		国語	地歴、公民	数 学	理 科	外国語			
前期日程	共通テスト	200	100	200	200	200	900	1,300	
	個別学力検査等			200	200		400		
	主体性等評価 【B選考のみ加算】								※30
後期日程	共通テスト	200	100	200	200	200	900	1,200	
	個別学力検査等			300			300		
	主体性等評価 【B選考のみ加算】								※30

【注意事項】

- ① 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

5. 食農学類

試験日程	試験区分	学力検査					面接	小計	総点	主体性等評価
		国語	地歴、公民	数 学	理 科	外国語				
前期日程	共通テスト	200	100	200	200	200		900	1,300	
	個別学力検査等			(200)	(200) (200)	(200)		400		
	主体性等評価 【B選考のみ加算】									※30
後期日程	共通テスト	200	100	200	200	200		900	1,200	
	個別学力検査等			(200)		(200)	100	300		

【注意事項】

- ① 配点に()を付してある教科は、選択教科・科目を表します。
 ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

VI 出願手続

1. 出願方法の確認 (Step 1)

出願手続の手順については、本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」
(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) に掲載されている
「インターネット出願ガイド」および以下を参照してください。

インターネット出願登録 (下記 Step 2) だけでは出願手続は完了しません。

Step 1	出願方法の確認 (20～21 ページ参照)	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容を確認してください。
Step 2	インターネット出願登録 (21 ページ参照)	出願登録期間内に、インターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。
Step 3	検定料の支払い (21 ページ参照)	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください (検定料免除申請を行う場合は支払わないでください)。
Step 4	必要書類の作成・印刷・送付 (22～23 ページ参照)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と、他のすべての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「一般書留速達」で郵送してください。
Step 5	受験票の印刷 (23 ページ参照)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。

2. 事前準備 (Step 1)

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 <Windows> ・ Microsoft Edge (最新バージョン) ・ Google Chrome (最新バージョン) ・ Firefox (最新バージョン) <Mac OS> ・ Safari (最新バージョン) <Android 11.0 以上> ・ Android Chrome (最新バージョン) <iOS 14.0 以上> ・ Safari (最新バージョン) ※最新バージョン以外でも利用することはできますが、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。また、その場合は最新バージョンへアップデートしてご利用ください。
メールアドレスの準備およびメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 (@adb.fukushima-u.ac.jp, @postanet.jp) 出願時に登録したメールアドレスに、以下の4～5回メールが送信されます。 ① インターネット出願登録入力中のテストメール ② 出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③ 検定料支払完了時の自動送信メール (検定料免除申請を行う場合は送信されません) ④ 顔写真が承認または非承認された際のメール ⑤ 受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。

入学志願者本人写真（データ）の準備	インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ（jpg）が必要です（受験票に顔写真が掲載されることになります）。 写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願サイトにて出願前3か月以内に正面向き、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは3MBまでです。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、<u>現像された写真を再撮影しているもの等</u>。
必要書類等の準備	「7. 出願書類等」（22 ページ参照）記載の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。
出願書類提出用封筒の準備	出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を準備してください。試験日程ごと（前期日程、後期日程）に別々に準備してください。
様式印刷の準備（プリンタ、印刷用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。 印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。

3. インターネット出願登録期間（Step 2）

令和6年1月20日(出)～2月2日(金) 午後4時30分まで

4. 検定料の支払い（Step 3）

検定料は**前期日程、後期日程ともに17,000円**です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「コンビニエンスストア」「ペイジー（ネットバンキング・銀行ATM）」のいずれかの方法で払い込んでください（払込手数料が別途必要です）。

【払込期間】

令和6年1月20日(出)～2月2日(金) 午後4時30分まで

なお、支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です（出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます）。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし、次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった、または出願が受理されなかった）

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ

ウ. 出願期間終了までに、検定料免除に該当することを証明する書類を取得できなかったものの、出願期間終了後に取得した

エ. 本学が指定した大学入学共通テストの受験教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した（13,000円を返還）

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。

また、返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問い合わせ先：福島大学財務課出納係

☎024-548-8015

※検定料免除について

本学では、令和5年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については33ページの「XVI 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

5. 出願期間 (Step 4)

令和6年1月22日(月)～2月2日(金) 午後5時まで

※持参する場合、出願期間最終日2月2日(金)の入試課の窓口受付時間は午後5時までです。

6. 出願書類提出先 (Step 4)

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎024-548-8064

7. 出願書類等 (Step 4)

入学志願者は、次の書類を取り揃え、**一般書留速達**で郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし、令和6年2月2日(金)以前の発信局消印のある一般書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

なお、高等学校で数人分まとめて提出する場合も、出願書類提出用封筒に一人分ずつ入れ、一括して別封筒に封入のうえ、郵送(**一般書留速達**)または持参してください。

持参する場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票 (◇)	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 前期日程の入学志願者は『 前 国公立前期日程用』、後期日程の入学志願者は『 後 国公立後期日程用』の『令和6共通テスト成績請求票』を指定の場所に貼り付けるのを忘れないようにしてください。
2. 調査書	出身学校長が作成し厳封したもの。
3. 実技実績調査書 (◆) (人間発達文化学類前期日程スポーツ健康科学コース入学志願者のみ)	本学所定の様式 出身学校長が作成したもの。
4. 検定料免除申請書 (◆) および添付書類 (申請者のみ)	本学所定の様式 なお、検定料免除申請を行う場合は、試験日程ごと(前期日程、後期日程)に別々に申請するとともに、出願時に検定料を払い込まないでください。
出願書類提出用封筒	各自で準備した市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に、上記1～4の必要書類で該当するものを封入し、一般書留速達で郵送してください。 試験日程ごと(前期日程、後期日程)に別々の封筒に入れて郵送してください。 持参する場合も、試験日程ごと(前期日程、後期日程)に別々の封筒に入れて提出してください。
出願書類提出用宛名シート (◇)	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。 試験日程ごと(前期日程、後期日程)に別々に印刷してください。

8. 出願書類作成上の注意事項 (Step 4)

- ① 表中の「◇」印の書類は、インターネット出願登録後にインターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷する書類です。
インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。
- ② 表中の「◆」印の書類は、本学ウェブサイトから様式をA4サイズでモノクロ印刷（複数ページの場合は両面印刷）して作成する書類です。
(本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>))
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。自筆作成の指定がない書類は、パソコンによる作成も可です。
- ③ 押印が必要な書類もありますので注意してください。
- ④ 「7. 出願書類等」表中の1・2以外で誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- ⑤ 廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は、卒業証明書および成績証明書（成績通信簿）を提出してください。また、成績証明書も得られない場合には、調査書・成績証明書が発行できない旨の証明書（出身学校長が作成したもの）を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの卒業証明書等が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。
- ⑥ 出願資格(3)①～⑤（9ページ参照）により出願を希望する者は、出願資格を証明するものを調査書に代えて提出してください。高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格（見込み）者は、合格成績証明書（合格見込みの者は、合格見込成績証明書）を提出してください。なお、高等学校等において一部科目を修得し免除された者は、在学期間中の調査書または成績証明書も提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、日本語以外で書かれた証明書には、その日本語訳を必ず添付してください。
- ⑦ 出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
 - ・入学志願票等に記入漏れまたは誤記入があるもの
 - ・出願書類として添付が必要な証明書等が同封されていないもの
- ⑧ 出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却および志望等の変更（志望学類・コース等、個別学力検査選択科目、音楽実技検査選択科目等）は認めません。
- ⑨ 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑩ 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることが分かる公的な証明書（戸籍抄本等）を別途提出してください。

9. 受験票の印刷について (Step 5)

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。

カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、試験日の3日前までにインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

また、「大学入学共通テスト受験票」も必ず持参してください。

10. 出願に際しての留意事項

- (1) 他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く）の学校推薦型選抜、総合型選抜合格者は、本学が行う個別学力検査等を受験しても合格者とはなりませんので注意してください。
ただし、当該学校推薦型選抜、総合型選抜を実施する大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合は除きます。
※公立大学協会ウェブサイト (<https://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照
- (2) 同一試験日程グループの二つの大学・学部に出願することはできません。
したがって、「前期－前期」、「後期－後期」の併願はできません。

- (3) 本学一般選抜において、異なる試験日程の学類間または同一学類への併願を認めます。ただし、併願する場合は出願書類をそれぞれの試験日程別に作成し、出願してください。
- (4) 本学および他大学の「前期日程試験」に合格し入学手続を行った者は、「後期日程試験」を受験してもその合格者とはなりません。

11. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和5年12月27日（水）までに、本学入試課に申し出てください。

試験日の直前の申し出の場合には、特別な配慮への対応ができないことがあります。

申し出に基づく事前相談は以下によります。

- (1) 相談の時期 令和6年1月10日（水）まで
- (2) 相談の方法
 - ・事前相談申請書（本学所定様式*）に健康診断書等必要書類（具体的には問い合わせてください）を添付し、(1)の期日までに提出してください。
 - ＊本学ウェブサイトの「入試情報－募集要項」
<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html> からダウンロードできます。
 - ・大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」の写しも提出してください。
 - その場合、健康診断書等については大学入試センターへ提出した写しで構いません。
 - ・申請書の内容により、必要に応じて面談等を行うことがあります。
- (3) 連絡先 福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎024-548-8064
- (4) その他
 - ・各学類とも、この事前相談の内容等を合否判定のための資料には用いません。
 - ・上記期日以降に相談の必要な事由が発生した場合は、速やかに申し出てください。
 - ・参考
 本学ウェブサイト「身体等に障がいのある学生の支援」
<https://www.fukushima-u.ac.jp/university/know/disability.html>

○ 人間発達文化学類、共生システム理工学類および食農学類への志願の際の注意事項

言語、視覚、聴覚および運動機能に障がいのある者は、障がいの程度によっては教育課程の履修が困難な場合がありますので、これらの障がいを持つ者で不安がある者は、できるだけ早い時期に上記連絡先まであらかじめ問い合わせたうえで出願してください。

12. 出願状況についての情報提供

各学類の入学志願者数について、本学ウェブサイトの「入試情報」にて情報提供を実施します。

- (1) 実施期間 令和6年1月24日（水） 午後6時から
 - (2) 本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) をご覧ください。
- (注) 福島大学スマートフォン対応サイトからも入学志願者数を確認できます。



13. 大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表

志望する学類（コース）が課すすべての教科・科目を受験しているか、25ページ以降に掲載している自己確認表を用い、各自で必ずチェックして出願してください。確認の際には、10～12ページで受験を要する教科等をよく確認してください。1つでも受験していない教科・科目がある者は出願できませんので注意してください。

また、出願書類受理後に受験教科・科目の不足が判明した場合には、出願資格を満たしていない個別学力検査等を受験することはできません。

なお、自己確認表は提出する必要はありません。

提出不要

《人間発達文化学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には、10 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験 日程	コース	受験を要する 教科名等	科目の選択方法	☐受験科目に ✓をつける	☑必要科目を受験していることを✓をつけて確認する				
前後 期 日 程	すべてのコース	国語	国語	☐	チェックしている ☐				
		地理歴史、公民	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1 科目チェックしている ☐ →理科<選択①>を確認 2 科目チェックしている ☐ →理科<選択②>を確認				
			理科	（選 択 ① ）		【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	☐ ☐ ☐ ☐	から2 基礎を付した2科目+基礎を 付していない1科目 合計3つチェックしている から1 または ☐	
						物理 化学 生物 地学	☐ ☐ ☐ ☐		
						【パターン2】 物理 化学 生物 地学	☐ ☐ ☐ ☐		から2 基礎を付していない科目 2科目チェックしている または ☐
						【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	☐ ☐ ☐ ☐		
		数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	☐ ☐	1 科目チェックしている ☐				
				数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎		☐ ☐ ☐ ☐	1 科目チェックしている ☐		
		外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1 科目チェックしている ☐				
		合計	<選択①>〔5教科7科目〕 または〔5教科8科目〕 <選択②>〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕 または〔6教科8科目〕			【最終確認】 この欄に、6つの✓が入っていますか？ ・入っている →出願に必要な科目を受験しています。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると、 個別学力検査等は受験できません。 ・入っていない →受験科目が不足しています。出願できません。 もう1度確認してください。			

提出不要

《行政政策学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には，10～11 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験 日程	受験を要する 教 科 名 等	科目の選択方法	☐ 受験科目に ✓をつける	☐ 必要科目を受験していることを✓をつけて確認する
前 後 期 日 程	国語	国語	☐	チェックしている ☐
	地理歴史	世界史B	☐	} 1 科目チェックしている ☐
		日本史B	☐	
		地理B	☐	
	公民	現代社会	☐	} 1 科目チェックしている ☐
		倫理	☐	
		政治・経済 倫理，政治・経済	☐	
	数学	数学Ⅰ・数学A	☐	} 1 科目チェックしている ☐
		数学Ⅱ	☐	
		数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	☐	
理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	☐	} 基礎を付した科目 2 科目チェックしている または — } ☐	
	物理 化学 生物 地学	☐		} 基礎を付していない科目 1 科目チェックしている
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	☐	} 1 科目チェックしている ☐	
合計	〔6教科7科目〕 または〔6教科8科目〕		【最終確認】 この欄に，7つの✓が入っていますか？ ・入っている →出願に必要な科目を受験しています。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると， 個別学力検査等は受験できません。 ・入っていない →受験科目が不足しています。出願できません。 もう1度確認してください。	

提出不要

《経済経営学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には，11 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験 日程	受験を要する 教科名等	科目の選択方法	☐受験科目に ✓をつける	☑必要科目を受験していることを✓をつけて確認する
前後 期期 日日 程程	国語	国語	☐	チェックしている ☐
	地理歴史，公民	【パターン1】 世界史B 日本史B 地理B	☐ ☐ ☐	地理歴史の 2科目チェックしている または から1 地理歴史1科目 +公民1科目の 合計2科目チェックしている
		【パターン2】 世界史B 日本史B 地理B	☐ ☐ ☐	
		現代社会 倫理 政治・経済 倫理，政治・経済	☐ ☐ ☐ ☐	
			☐ ☐ ☐ ☐	
	数学	数学Ⅰ・数学A	☐	チェックしている ☐
		数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	☐ ☐ ☐	1科目チェックしている ☐
	理科	【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	☐ ☐ ☐ ☐	基礎を付した科目 2科目チェックしている または 基礎を付していない科目 1科目チェックしている
		【パターン2】 物理 化学 生物 地学	☐ ☐ ☐ ☐	
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1科目チェックしている ☐
	合計	[5教科7科目]， [5教科8科目]， [6教科7科目] または [6教科8科目]		【最終確認】 この欄に，6つの✓が入っていますか？ ・入っている →出願に必要な科目を受験しています。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると， 個別学力検査等は受験できません。 ・入っていない →受験科目が不足しています。出願できません。 もう1度確認してください。

提出不要

《共生システム理工学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には，12 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験 日程	受験を要する 教 科 名 等	科目の選択方法	☐ 受験科目に ✓をつける	☐ 必要科目を受験していることを✓をつけて確認する		
前 後 期 期 日 日 程 程	国語	国語	☐	チェックしている ☐		
	地理歴史，公民	世界史B 日本史B 地理B	☐ ☐ ☐	} 1 科目以上チェックしている ☐		
		現代社会 倫理 政治・経済 倫理，政治・経済	☐ ☐ ☐ ☐			
		数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A		☐ ☐	} 1 科目チェックしている ☐
			数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎		☐ ☐ ☐ ☐	
	理科	【パターン1】 物理 化学 生物 地学	☐ ☐ ☐ ☐	} から2 基礎を付していない科目 2 科目チェックしている または } ☐		
		【パターン2】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	☐ ☐ ☐ ☐		} から2 基礎を付した2 科目 + 基礎を付していない1 科目以上の 合計3 科目以上チェックしている	
		物理 化学 生物 地学	☐ ☐ ☐ ☐			} から1
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	} 1 科目チェックしている ☐		
	合計	〔5 教科 7 科目〕 または〔5 教科 8 科目〕	【最終確認】 この欄に，6 つの✓が入っていますか？ ・入っている →出願に必要な科目を受験しています。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると， 個別学力検査等は受験できません。 ・入っていない →受験科目が不足しています。出願できません。 もう1 度確認してください。			

提出不要

《食農学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には，12 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験 日程	受験を要する 教科名等	科目の選択方法	☐受験科目に ✓をつける	☑必要科目を受験していることを✓をつけて確認する	
前後 期期 日日 程程	国語	国語	☐	チェックしている ☐	
	地理歴史，公民	世界史B 日本史B 地理B	☐ ☐ ☐	} 1 科目以上チェックしている ☐	
		現代社会 倫理 政治・経済 倫理，政治・経済	☐ ☐ ☐ ☐		
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	☐ ☐	} 1 科目チェックしている ☐	
		数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	☐ ☐ ☐ ☐	} 1 科目チェックしている ☐	
	理科	【パターン1】 物理 化学 生物 地学	☐ ☐ ☐ ☐	} から2 基礎を付していない科目 2 科目チェックしている または } ☐	
		【パターン2】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	☐ ☐ ☐ ☐		} から2
		物理 化学 生物 地学	☐ ☐ ☐ ☐		} から1 基礎を付した2 科目 + 基礎を付していない1 科目以上の 合計3 科目以上チェックしている
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	} 1 科目チェックしている ☐	
	合計	〔5 教科 7 科目〕 または〔5 教科 8 科目〕		【最終確認】 この欄に，6 つの✓が入っていますか？ ・入っている →出願に必要な科目を受験しています。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると， 個別学力検査等は受験できません。 ・入っていない →受験科目が不足しています。出願できません。 もう1 度確認してください。	

Ⅶ 試験当日に持参するもの

- ① **福島大学受験票**
- ② **大学入学共通テスト受験票**
- ③ 筆記用具（黒鉛筆，シャープペンシル（黒い芯に限る），鉛筆削り，消しゴム）
- ④ 時計（計時機能だけのもの）
- ⑤ 実技検査に必要なもの※（実技検査受験者のみ）
※14 ページに記載してありますので，受験する実技検査の項目をよく確認してください。

Ⅷ 試験場

試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の福島大学案内図を参照してください。試験室および控室等については，試験当日，受験に関する掲示板に掲載します。ただし，志願状況によっては，試験場の一部を変更することがあります。その場合には，該当者に別途その旨通知します。

令和6年1月下旬までには，受験上の案内を本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に掲載しますので，必ず確認してください。

試験場への入場の際，福島大学受験票および大学入学共通テスト受験票の両方の提示により，本人確認のうえ，入場を許可しますので，両方の受験票を必ず持参してください。

Ⅸ 合格者発表

合格者の発表は，下記の日程で本学中央広場の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲載するとともに，合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を日本郵便の「レターパックプラス」で郵送します。

- （注）1. 電話等による可否の問い合わせには応じません。
2. 合格者発表当日は，インターネット回線が混雑するため，つながりにくい場合があります。

試験日程	発 表 日	発表時刻
前期日程	3月6日（水）	午前11時
後期日程	3月20日（水・祝）	午前11時

ＪＲ福島駅およびＪＲ金谷川駅周辺で行われている可否電報受付等については，本学は一切関知していませんので十分注意してください。

Ⅹ 追加合格

入学手続期間終了後，欠員が生じた場合は，3月28日（木）以降に「追加合格」を行うことがあります。

その場合，入学の意思確認は電話により行いますので，必ず入学志願票所定の欄に入学志願者本人の連絡先として住所および電話番号を記入してください。

なお，欠員補充の状況については，3月28日（木）以降，本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)にて情報提供を行います。

X I 入学手続

1. 手続の概要

- (1) 合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

試験日程	入学手続期間
前期日程	3月7日（木）～15日（金） 午後4時必着
後期日程	3月21日（木）～27日（水） 午後4時必着

入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

- (2) 入学手続に際しては、入学料等を納入する他、「入学手続の手引き」に記載の書類および『大学入学共通テスト受験票』を提出しなければなりません。
- (3) 入学手続完了後は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入学者をすることは認められません。

2. 入学辞退者の取扱い

入学手続完了後、特別な事情により入学を辞退する場合には、事前に本学入試課まで電話で連絡し、令和6年3月31日（日）午後5時までに「入学辞退願（様式任意。理由を付すこと。）」を提出してください。

3. 入学時の大学への納入金

入 学 料（予定額）	282,000 円
------------	-----------

（注）1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む）は、入学料の返還はできません。

（参考）1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額（予定額）は次表のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授 業 料（予定額）	前期分 267,900 円 後期分 267,900 円 合計（年額） 535,800 円
------------	--

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」「校友会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

4. 入学料・授業料の減免について

非課税世帯およびそれに準ずる世帯の方は、日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）によって、家計の所得に応じた支援区分で入学料、授業料が減免されます。また、支援区分ごとの奨学金が毎月給付されます。

その他、激甚災害に遭われた方で、修学支援新制度の対象とならない方には、家計を確認したうえで入学料、授業料が減免される本学独自の制度があります。

XⅡ 不正行為の禁止について

(1) 不正行為に該当する行為および罰則について

試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用する等の行為は、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

(2) 試験時間中に使用できないもの

試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

① 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン（補聴器等の管理医療機器除く）、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類

※ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

※ 試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

② 下敷、コンパス、定規等の補助具

※ これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。

XⅢ 入試情報の公開（開示）について

1. 試験問題等の公開について

(1) 試験問題

問題を配付した試験については、合格者発表後、学内閲覧できます。また、準備ができ次第、本学ウェブサイトでの公開（著作権の関係で非公開の部分を除く）および残部の配布を行います。

(2) 解答例等

学力検査については「解答例」を、小論文については「出題意図」を、合格者発表後に公開します（「解答例」は学内閲覧のみ）。

(3) 合格者の最低点

合格者の最低点（総合点によるもの）については、試験日程別・学類（人間発達文化学類前期日程はコース）別に合格者発表時に、合格者受験番号の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）に公開します。

合格者が10人未満の入学試験については公開しません。

2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

(1) 申請期間 令和6年5月7日（火）～5月31日（金）

(2) 開示方法 令和6年4月上旬、本学ウェブサイトの「入試情報」に、開示方法を掲載します。
(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>)

(3) 開示内容

① 個人成績については入学試験ごとに該当する以下の成績

ア. 大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点（本学が判定に使用した教科・科目のみ。傾斜配点を
行う教科・科目は傾斜配点換算後の得点）

イ. 個別学力検査等の得点

ウ. アとイの総合点

② 調査書について

「指導上参考となる諸事項」、「総合的な探究の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知表と同等のもの）

XIV 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

- 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む）に利用します。
- 入学手続に関する業務に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお、入学志願者にあつては、大学入学共通テストの成績を取得する目的で、独立行政法人大学入試センター（以下、「大学入試センター」といいます）へ、合格者にあつては、国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

また、出願手続に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

XV 一般選抜（前期日程および後期日程）における過去問題の使用について

- (1) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出題された問題を、再度活用して出題することがあります。ただし、小論文は除きます。
- (2) 過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。
- (3) 過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、本学ウェブサイトの「入試情報」(<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) で公表します。
- (4) 「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧は、次のウェブサイトで公表しています。
(<https://www.nyushikakomon.jp/>)

XVI 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成 23 年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和 5 年度に行われるすべての入試において、検定料免除の特別措置を以下のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成 23 年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成 23 年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方

- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成 23 年 3 月 11 日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
①家屋の全・半壊	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

①検定料免除申請書（本学所定の様式）

本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>）参照

②次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に書類と合わせて提出してください。

検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

※出願期間後の申請は認められませんので、ご注意ください。

XVII 令和 7 年度福島大学入学者選抜（令和 6 年度実施）の見直しに関する予告について

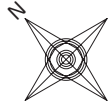
本学ウェブサイトの「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）に最新の情報を掲載していますので、ご覧ください。



XVIII その他

新型コロナウイルス感染状況等により、令和 6 年度入試において変更が生じた場合は、本学ウェブサイト「入試情報」（<https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）で随時お知らせします。

福島大学案内図



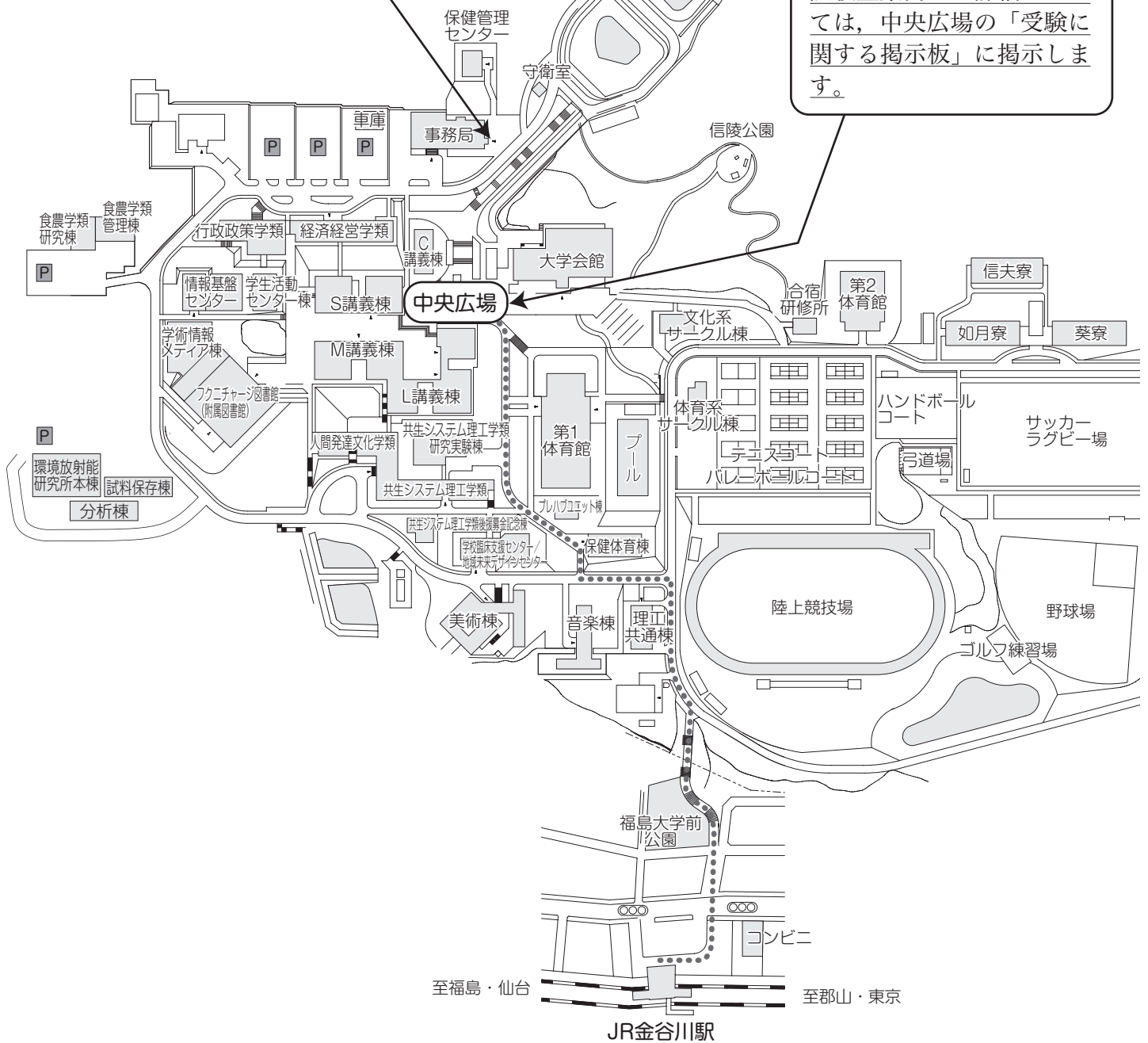
県道
至福島

福島・安達線 (旧国道4号)
至松川町

入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



かなやがわ
JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University